

学校図書館 司書だより

2021年12月



読しと読書

『なんとなく』から

ひろがる世界

東中学校 三年 糸山 陽奈希

皆さんは、どうやって本を選びますか。

映画化する有名な作品を？それとも、書店員さんが作ったポップに目を引かれて？

私が選ぶ理由は『なんとなく』です。

なんとなく、表紙が可愛かったから。

なんとなく、題名の響きが良かったから。

なんとなく、主人公の苗字が格好良いから。そんな理由で本を手にとったこともありますが、案外自分の勘は信じられると思うので

す。

例えば、三歳の頃、なんとなく絵が好きで手に取った『キャベツくん』。読んでみたらブタヤマさんがとっても可愛くて、何度もくり返し「プギヤ！」と言っていました。

また、小三から小四にかけてハマった『探偵チームK2事件ノート』。これは出て来る男の子が皆格好良い！から始まったはずですが、読んでいくうちに友情あり恋あり勿論ミステリーありのお話の方に引き込まれていきました。十冊は呼んだと思います。

こんなふうに、フィードバックだけで選んだ本には、意外とおもしろさが詰まっているものなのです。

そしてその中でも一番好きなのは、『夜が明けたら、いちばんに君に会いにいく』です。表紙が美しく手に取りました。これを読んで、よく空を見るようになりました。そして、空がとて綺麗なものに見えるようになりました。

りました。この感動を皆さんにも味わって欲しいのであらずは割愛しますが、強いて言えば泣ける本だと思います。辛いところでも嬉しいところでも泣きました。『なんとなく』の出会いには、自分の世界を変えてくれるものでした。本にはそんな力がある、と私は思っています。

『なんとなく』でも『とりあえず』でも理由はなんでもいので、本を読んでみて下さい。本をひらけば、そこには現実とちよつと違う、未知の世界が広がっています。

今日、なんとなく本をひらいてみませんか。



私の読書スタイル

西中学校 三年 後藤 唯花

私は読書が好きです。新しい本と出会うときは図書館の最新コーナーで選びます。本はいつでも自由な場所へ運んでくれるし、どこまでも続く楽しさがあります。一日の読書は朝読書からスタートし、昼休み、友達と集合するまでの間、家に帰ってから、寝る前と何度も読んでいます。一〜三冊同時並行して読むのが好きでおもしろそうだと思うとつい

糸山さんは、前期文化副委員長を務めました。幅広いジャンルの本を読む読書家です。



つい手を出してしまうので、本を入れるかばんにはいたい四〜五冊本が入っています。本を読むことは生活の軸になっています。

私は小さい頃から本が好きですが、一番好きな本は小六の時から変わっていません。香月日輪さんの『妖怪アパートの幽雅な日常』シリーズです。加茂野小の図書館で初めてその本を手にとった時、独特な表紙に惹かれ、すこ興味をもったのを覚えています。本に誘われるようにページをめくりました。すごい。何だこれは。主人公・タ士が私に向けてしゃべっているようなテンポの良い文章。親友・長谷とのやりとりで憧れ、アパートにまぢかまえていた最高にかっこよくて得体の知れない「大人」たち。そして、るり子さんのまかないの美味しそうなことといったら！何よりも、広くて色々な世界を見てきたアパートの住人の言葉に行動にタ士と一緒に驚いて成長させてもらえたと思っっています。

冒頭の「どこまでも続く楽しさ」は、主人公と感情を共有したり、本の世界へと入り登場人物とともに成長したりするところにあると思うのです。見えな世界と向き合わせてくれるような本と出会うと、とて願っています。

後藤さんは、前・後期文化委員長です。9類（文学）の本が大好きです。



☆図書館クイズ☆

子どもたちに人気の3冊の本！でもどこかタイトルに間違いがあります。本当のタイトルは何でしょう？

- 1 これはのみのぶち
- 2 エルマーのたんけん
- 3 銀河鉄道の旅

読書タイム

ほたるっこと
ほたるん

こんにちは。

読み聞かせボランティア『ほたるん』です。

三和小学校で月に一回読み聞かせをしています。低、中、高学年の三クラスを三人で毎月交代しながら担当しています。コロナ禍での読み聞かせは、先生方に協力頂き、電子黒板とタブレットを活用して行っています。初めはマスクとフェイスシールドを使用しましたが、フェイスシールドが曇ったり声が小さくなったりと上手くいかず、先生と相談した結果、今のスタイルになりました。読み手は本をタブレットに向け、子どもたちは本が映し出される電子黒板を見ます。少し読みづらさ、伝えづらさはありますが、早くから一人一台タブレットを導入していたほたるっ子（三和小の子）たちは、さほど抵抗はないようです。

ほたるっ子たちと読み聞かせで繋がり、一緒に本の世界を楽しめることに毎回幸せを感じています。ほたるっ子はいつも笑顔や様々な反応、姿を見せてくれます。年度末には感謝の手紙をくれます。温かい言葉や心に触れる度にとっても嬉しくなり、期待に応えられるように一冊一冊心を込めて読んでいます。本選びも学年や反応を考えながら丁寧に選んでいます。例えば、

「季節や行事に合わせて本を選んでいきます。三月に高学年に読む場合、六年生は四月から中学生になる不安やワクワク感を、五年生は最高学年になる事の責任感を感じたりしていると思うので、”一人で悩まなくていいんだよ”、”あなたは素敵”、という思いが伝わる様な本を選んでいきます。」と、本を丁寧に選ぶ気持ちは仲間も同じです。

思いを込めて選び読む本が、ほたるっ子の心に届いてほしいと思っています。その時に響かなくても、この先ふと懐かしく思い出してくれるかもしれない。本との出会いが子どもたちの心を動かしたり、新しい一歩に繋がるきっかけになると良いなあと思います。

三和小は小規模校ということで一人一人のかかわりが深く、ほたるっ子全員が我が子のように愛おしく思えます。仲間も、「子どもたちの成長を感じながら読ませていただいているので、卒業シーズンが近づくと読んでいるこちらがジーンとしてしまい涙が出てしまいます。」

と、ほたるっ子への愛情は深いです。目を輝かせて聞いてくれるほたるっ子たちに本の世界を全身で伝えたいので、対面で出来る日が待ち遠しいです。読み聞かせの時間をみんなが楽しめるように、これからも『ほたるん』は素敵な本と時間を笑顔で届けたいです。



えほん

「かんじるえ」
大谷 陽一郎/さく
福音館書店 ¥1,320



パラパラとページをめくると、文字がどこにもでてこない絵本です。でも、本当は…漢字だけの絵本なのです!! よく見ると絵が文字で描かれていることに気がつきます。どんな漢字を選んで何を表現しているのか、ぜひ目をこらしてじっくりみてください。



物語

「せかいでいちばんママがすき」
あいはらひろゆき/作
あだちなみ/イラスト
岩崎書店 ¥1,210



ゆうたとももはママが大好き！そのママが入院。ゆうたはたくさんの我慢を強いられ、幼い妹のもの我が儘に振り回されます。ゆうたの頑なな心がママの言葉で解けていきます…切なく、愛しい家族の物語。お母さんにも読んで欲しい本。美しい絵童話。



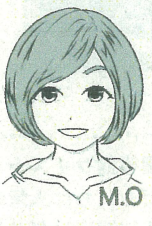
この本読んでみて!

小説

「みどりのゆび」
モーリス・ドリュオン/作
安東次男/訳
岩崎書店 ¥704



チトの親指が触れると、そこにはたちまち美しい花や木が育つ。不思議なみどりのゆびを持つ勇氣ある男の子の物語。チトはそのみどりのゆびで、刑務所、病院、動物園の危機を救ってきた。今度は戦争から人々救うことができるだろうか。優しい気持ちになれる本です。

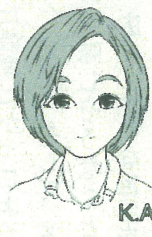


大人向け

「保健室から見える
親が知らない子どもたち」
桑原朱美/著
青春出版社 ¥1,540



保健室は「体調不良」で様々な子どもがやってきます。養護教諭であった著者は、子どもの背景にある「思い込み」が不調の中にあると気づきます。実際の実例を挙げどう対処したかわかり易く記されています。そしてそれは大人たちの思い込みでもあると気づかされます。



このコーナーで本を紹介しているのは、市内の学校司書3人と東図書館司書です。

- ☆図書館クイズの答え☆
1. これはのみのびこ (小1すいせん図書)
 2. エルマーのぼうけん (小3すいせん図書)
 3. 銀河鉄道の夜 (小6すいせん図書)